

2020年3月11日発行(通算第100号)
 連絡先 〒145-0061 大田区石川町1-26-8
 発行 呑川の会 代表 高橋 光夫
 呑川の会 e-mail: mitsuo.takahashi@nifty.com
 呑川の会 HP <http://home.m00.itscom.net/nomigawa/>
 高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>

の み が わ



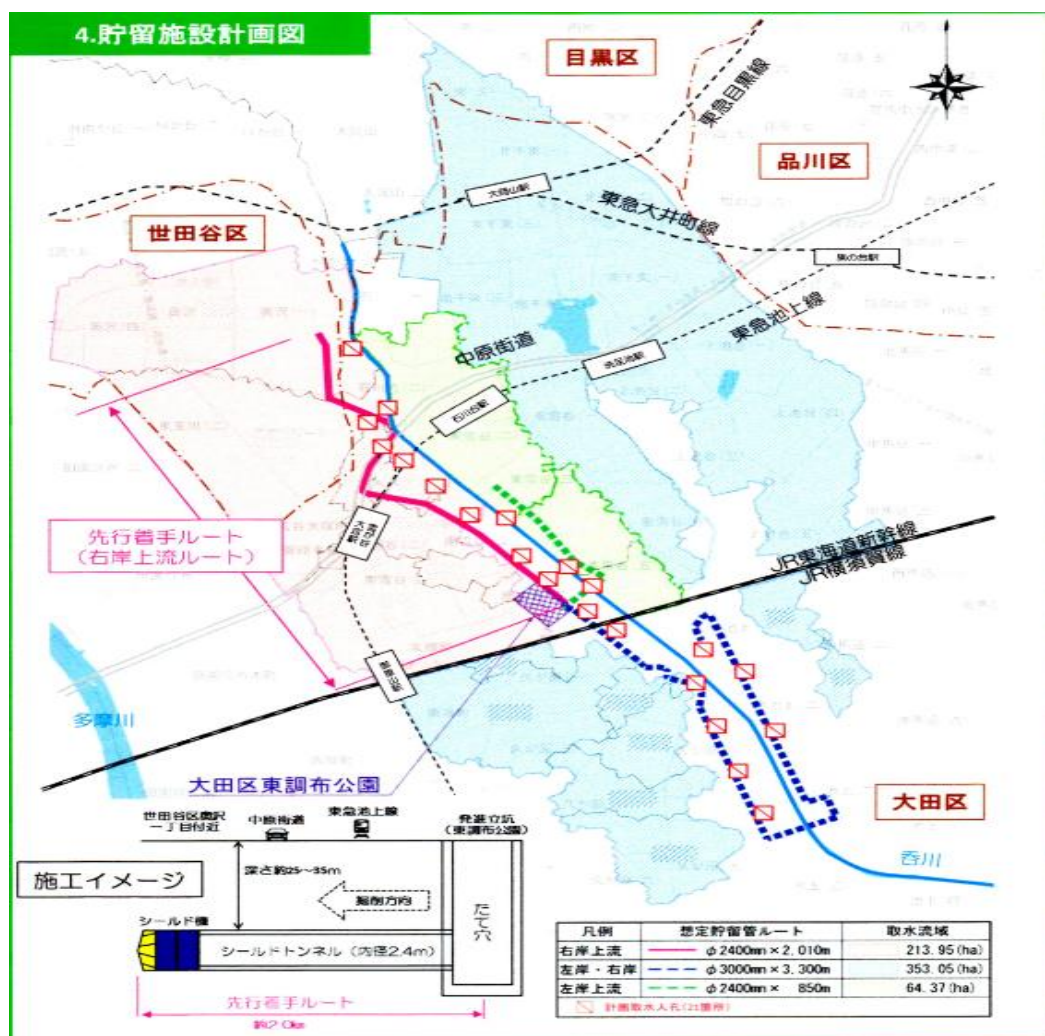
— 呑川の水質浄化本格対策 —

呑川「合流改善工事」、いよいよ始まる！

菊池 均 記

呑川の浄化対策については今までも大田区や東京都を中心に様々行われて来ましたが、残念ながら細かな改善工事が主で、対処療法的対策がほとんどでした。しかしながら、長年待ちわびた本格的改善対策と考えられる大規模な工事が必要部分の一部とはいえ、いよいよ始まるのです。呑川沿岸の住民にとっては大いに注目の案件です。

図-1 雨天時下水貯留管施工予定図—東調布公園を起点としたトンネル貯留水槽工事

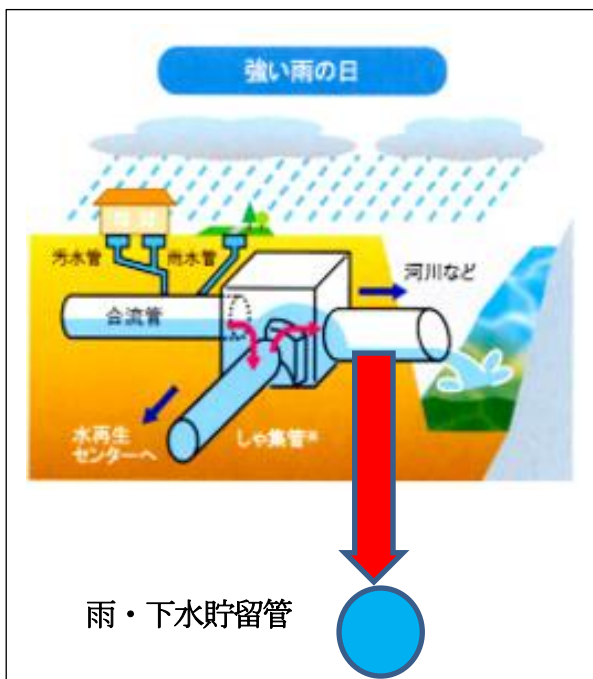


この工事は呑川周辺の下水道の「合流改善工事」と言って、中流域の呑川の汚染の原因である降雨時の下水から川への汚物を含む排水の流入を概ね止めるための工事です

今回始まるのは呑川に流れ込む世田谷区、目黒区、大田区の下水のうち、大田区の下水のみが対象ですが、それでも完成すれば全体の約1/3超の下水の流れ込みを概ね防ぐことが可能になる工事です。

方法は図-1の様に大田区の東調布公園を起点とした直径3mから2.4mのトンネルを道

図-2 雨天時の下水を貯留管へ回収



路下に延長距離で約6 km超にわたり造り雨天時はそこに雨交じりの下水を貯めて従来は川に溢れさせていた初期下水の汚物を回収防止する装置になります。

本格的な雨の多くは従来通り川に流すこととなりますが、雨の降り始めの汚物を多く含む下水を回収して一旦貯め、雨が止んだら、下水道本管経由「森ヶ崎水再生センター」へ送り、処理後、海へ捨てるフローとなります。下水道局によれば、概ね7割（降雨回数で）の雨天時下水の流入を防止できるとのことで、大いに期待すべき対策が始まると考えてよいでしょう。

ただ、問題はこの工事が終了するのに概ね10年以上かかるということです。

また、さらに完成しても全体必要部分の約1/3超のみである点は大いに留意すべきことであり、今後も大田区や東京都下水道局にさらなる尽力を願わなければならない次第です。私達も今後さらに進捗等フォローを続けて行きます。

みんなで集まろう！ 「呑川の会・総会」(4/18・土曜)へ！

～ 久しぶりに声を寄せ合い、楽しい1年を過ごすために ～

高橋 光夫 記

(開催日) 2020/4/18 (土曜) 13:30～16:30 (ミニ学習会含めて)

(場所) ふれあいはすぬま・第一集会室

(主な議題)・2019年度を振り返り、新しい1年の行事を計画します。

・新しい世話人会を選出し、出来るだけみんなで、役割を分担し合う体制を作ります。

- ・「新・呑川読本」の完成を目指します。
- ・「規約」や「内規」を整備します。
- ・時間を確保して「ミニ学習会」も行います。
- ・議題詳細は3月の世話人会で検討します。

*ふだんお見えにならない方も、この機会にぜひお顔を見せて、消息をいただければうれしく思います。楽しみにしています。

*いつもは発言されない方も、総会こそ遠慮なく、「全員」で意見や要望を出し合いましょう。

*例年通り記念写真も撮り、総会終了後は懇親会を開く予定です。お時間のある方はどうぞ！



久が原小学校 フェスタ参観

SOSのみがわを救い隊！！

2月14日、15日と令和元年度「第16回久原フェスタ」が行われ会員15名が参観しました。

昨年5月20日に呑川ウォークに参加された4年生(135名)が実際に歩いて気付いた点や生き物、環境の問題等について調べ、研究し発表されていた。3グループによる発表に他学年の生徒さんも熱心に質問されていた。呑川流域について今後も関心を寄せてくれると思いました。

橋本 文興 記

「呑川の会」という名称が決まり、「呑川の会ニュース」が最初に発行されたのは「1996年12月18日」でした。

それには久が原地域（根方橋～八幡橋）の改修工事や、双流橋下流に4台設置された「曝気船」のこと、そしてカルガモのヒナが大雨で流されてしまうこと等が報告されています。「呑川の会」が発足したのは翌年の「1997年5月8日」ですが、「会報」の名称が「のみがわ」と改題されたのは「2002年7月4日号」から、発行番号が付いたのは「通算39号（2005/11/1）」からでした。振り返ると会員の皆さんの努力の結集のたまものであることが良く判ります。

（令和元年 第二回）

— 大田区との「意見交換会の実施報告」 —

菊池 均 記

今年度第2回目の意見交換会が去る2月7日（金）に私達呑川の会を含む「呑川流域ネットワーク連絡協議会」と大田区の各担当者そして東京都下水道局も一部参加して行われました。その概要についてご報告いたします。

<テーマと概要>

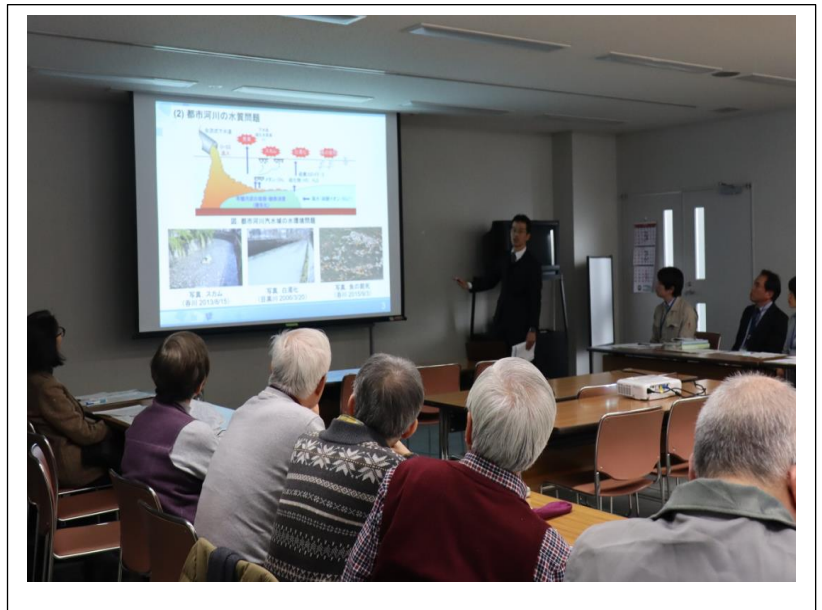
I. 大田区部分の合流改善工事に関する説明会 — 東京都下水道局

本誌冒頭に紹介した呑川の汚染問題を解決する本格対応工事の下水道合流改善工事の開始について、すでに工事地域については現地住民説明会が行われましたが、呑川浄化の切り札でもある本件について、直接都下水道局の担当者から説明をしていただきました。

<私達からの大きな疑問点と質問>

- (1) 工事期間が不明確だが実際はどうか。 — 概ね10年以上はかかりそう。具体的には現在は答えられない。
- (2) 完成後の汚染削減効果について。 — 降雨時頻度で約7割の効果を予測。（今回世田谷、目黒区部分は入っていないので全体での効果は流域面積比で0.38倍となる）
- (3) 目黒区、世田谷区部分の工事計画はどうなっているか。
— 現在は未定。→ 早期の計画の検討開始を要請した。

<感想>今回、ようやく呑川の汚染問題の根本改善策が着手されることになったのは大変良かった。だが、今回の工事も10年以上は掛かりそうであり、またより大きい工事区域の目黒、世田谷地域が依然として手つかずで残ることになり、まだまだ先は遠すぎていら立ちを覚える我々です。 またこの説明会を汚染地域の住民にも直接説明する機会をぜひ設けるよう大田区に要請しました。どうなるのか注視して行きたい。



II. (中流域の汚染改善のための) 高濃度酸素水装置のシステム上の疑問点について

現在、日本工学院専門学校前の呑川沿いで建設が行われている「高濃度酸素水装置」設置工事について、その機能に疑問点が生じたため質問と意見交換を行いました。

この装置は着工から既に3年近く経過していますが、まだ屋内の設備設置工事が残っていて、完成・稼働は来年の春頃になるとのことです。

汚染対策のメカニズムとしては、降雨時の下水道から出た汚物の川床での堆積物に対して高濃度の酸素水を吹き込み、周囲を現在の酸素不足による嫌気性細菌類による腐敗環境から好気性細菌類による好気性分解（腐敗）環境に変えて、悪臭やスカムの発生を抑えようとするものです。

図-1 「高濃度酸素水装置」システムズ

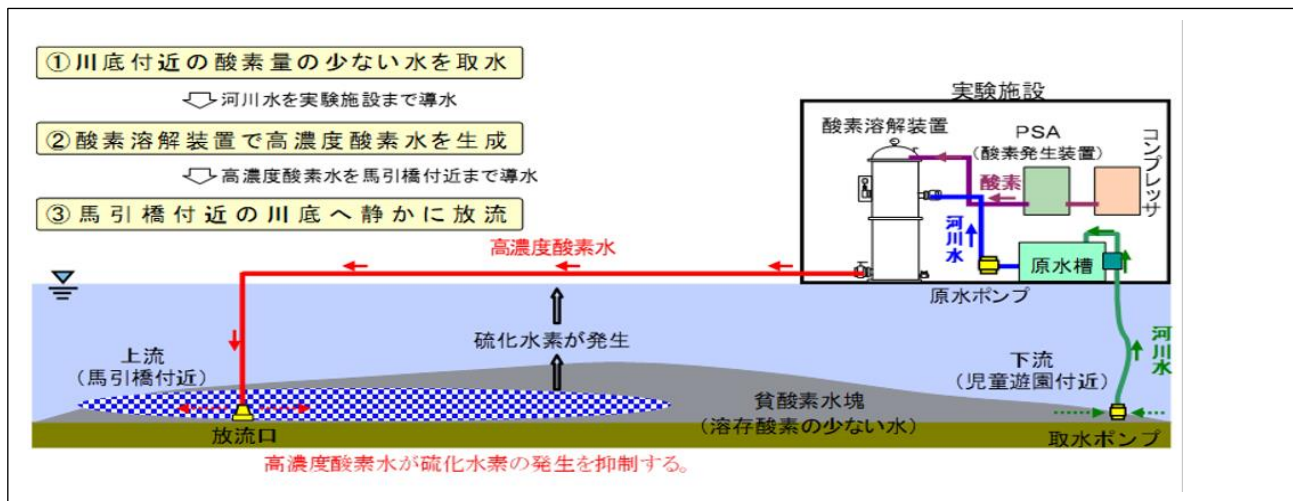


写真-1 放出管（口）

元々かなり難しい微妙な効果を狙ったシステムですが、その中で特にポイントと思える点で、既に完成している外部配管工事で、装置から上流に設置してある放流配管の放流口は現状俗に言う犬走部で

の開口のみになっています。これでどうして汚物を高濃度酸素水で覆うことが出来るのか、そもそもの設計のねらいを含めての質問と議論が中心になりました。

区とコンサル会社の説明では高濃度水の元の水は下流の川床の塩分濃度が濃い水をポンプアップして使い、放流部の川床より塩分濃度が濃いので、その比重さで単なる犬走部からの放流でも川床を覆うことが出来、また潮流の流れ（上げ潮）を利用して上流部の川床も覆う効果が出るとの説明でした。



図-2 全体配置図（緑の枠線部が改善予定部）

<結果> 今回すでに工事中ですがこのシステムについての突っ込んだ議論が一応できたことは、よかったですと思います。ですが、改めてこのシステムのナイーブさと成功後の上流部への拡大展開への難しさも認識でき、一定程度の懸念も抱かざる負えない思いも残りました。

Ⅲ. 橋上ゴミ集積場をどうやればなくせるか — 自由討論

本件は現在呑川の橋の上にゴミ収集用の置き場が約10カ所程有り、風等で川に落ちて川を汚すリスクが常態化しており、これをどうすれば解消できるのかの議論を予定しました。残念ですが、時間切れのため、次回以降に延期としました。

呑川に合流する「流れ」考 27

～田園調布の流れ～

記：白石 琇朗

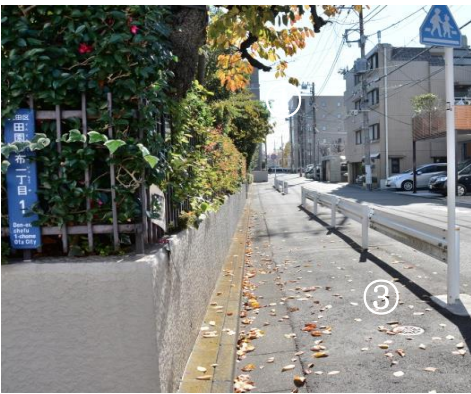
地図：寄立君子



大田区生まれの自然な湧水の流
れで、六郷用水の支流として呑
川に流れ込んでいました。

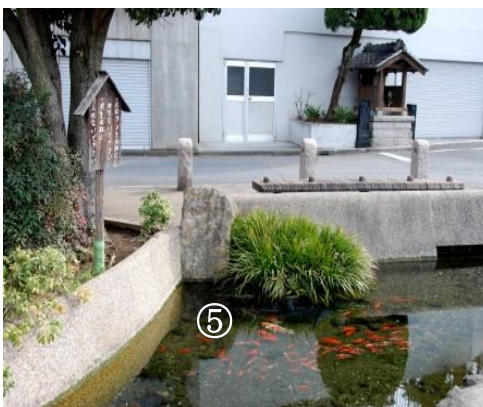
流れは環八通りに面した路地①
から始まり、30m程で左折して
中原街道に向って環八に並行し
て細い路地の流れ跡が続く。途
中の家②で庭木の剪定をしてい
た80歳位の奥様が、「家の脇を
きれいな水が流れていて、大雨

が降るとあふれて困った」と言っていました。今この辺りの側溝は雨水表示で分流式下水道です。田園調布一丁目東公園の脇を通り過ぎ、快適な流れ跡を行き、柿の実をいっぱい取っている奥さんにも昔の流れを



聞くと、「おいしい柿だから食
べてみる」と言われ、もらいま
した。

中原街道の手前で広い道の
側道③に出て渡り、路地の流れ
跡に入る。先に新幹線が見える
所から植え込みの遊歩道④に
なり、「東原くすのき公園」で
トイレ休憩する。JRの永富地
下道を潜ると、「六郷用水物語」
表示のマンホールが出てきて、
行く先を表示してくれる。



東調布中学の横の歩道（流れ跡）⑤をまっすぐ進むと、右の別れ道にマンホールが続き、梅の名所の西嶺高砂公園を通り、下ると六郷用水の高砂橋の池（洗い場跡）⑥に合流する。別れを右折せず直進すると梅の里の観蔵院前を通り、進むと六郷用水女堀の「護摩堂洗い場跡」に突き当たる。六郷用水工事最大の難所で「女堀」と言われた切り通しは、この付近の湧水流れを利用して掘り進めたと思われています。



洗足池小学校 呑川探索 学習支援 中止！

昨年度から始まりました洗足池小学校の呑川探索、学習支援は本年3月6日（金）に計画しておりましたが中止となりました。

「新型コロナウイルス感染症」に伴う全国小中学校一斉休校になり中止です。今後の予定はまだ決まっていません、先生、生徒さんも残念がっておられました。

今後の計画は未定ですが、次回実施のおりには皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

古海 信雄 記

2020年 春の都市河川ウオーク

🌸 春爛漫 大岡川ウオーク 🌸

菱沼 公平 記

(注) コロナウイルスの影響で、自主参加とします(マスク持参)。

日 時：2020年3月22日(日) 10時～15時30分(予定) 雨天延期
3月29日(日) 10時～15時30分(予定) 今回は雨天中止

集合場所：京急線 弘明寺駅改札口

コース：弘明寺駅 ⇒ 弘明寺(参拝) ⇒ 観音橋(大岡川) ⇒ 与七橋(鎌倉街道) ⇒ 観音橋
⇒ 大井橋 ⇒ 鶴巻橋 ⇒ 蒔田公園(南太田駅)・昼食休憩トイレ ⇒ 太田橋(黄金町駅) ⇒ 長者橋
(日ノ出町駅) ⇒ 北仲橋・河口 ⇒ JR 桜木町駅解散 歩程・約6km

参加費：500円

京急弘明寺駅を10時に出発し、大岡川に向かって坂を下る途中にある当地の古刹「弘明寺」に参拝し、商店街を通り大岡川の観音橋に出る。ここから大岡川ウオークとなる。上流に向かい鎌倉街道に架かる与七橋でUターンし、再び観音橋に戻る。この辺りは川中を歩け、ここ過ぎると写真の大井橋に出る。兩岸の「桜のプロムナード」遊歩道を歩き、12時頃に「蒔田公園」に到着予定だが、桜祭りの時期は出店もあり、人混みで予定通りにならないかもしれません。その場合は河口まで行けない可能性もある。昼休み後蒔田公園を出発した太田橋、長者橋を過ぎて河口の北仲橋に至る。眼前には横浜の「港みらい地区」風景が広がる。ここで自由解散となる。



エコフェスタワンダーランドin 六郷」に参加。

— 第19回・東六郷小学校に於いて —

このイベントの主催は大田区環境計画課・企画運営は第19回エコフェスタワンダーランド実行委員会です。



2月16日(日) 東六郷小学校に於いて開催されました。毎年区内の小学校を巡回して開催されています。今回のサブタイトルは「地域から考える地球の未来」でした。今年の参加団体は24団体でした。それぞれの団体が、各自の活動を紹介、資料の展示や工作、生きもの体験、自然界の物で作品制作、環境についての実験等多彩な内容に参加者の関心を集めていました。私たち「呑川の会」は呑川の現状写真を展示し説明や生き物クイズ等をとおして環境の理解に努めました。

特にクラフトによる「カワセミの製作」は人気があり多くの子供さんが参加してくれました、また区内の呑川に多くの生物や綺麗な鳥もいることを知り驚いている親御さんもいました。今回、開催日は雨でしたが美しい東六郷小学校に多くの参加者が集まり、呑川について理解を深めたと思われます。開催準備に前日から支援に参加し当日も多くの会員の協力をえて盛況に終えることができ感謝いたします。

南 弘元 記

* 「新型コロナウイルス」の影響で変更することがあります。ご注意ください。

<p>「呑川ネット・3月定例会」 2020/3/13 (金) 10:00~12:00 「消費者生活センター」Gr 活動室 * 「呑川グランドデザイン」町内会 PR 等</p>	<p>「呑川の会・3月定例会」 2020/3/19 (木) 13:30~16:30 「ふれあいはすぬま」 * 「東急財団」助成金結果 *総会準備 * 「ミニ学習」(2級河川・準用河川) * (午前中は定例世話人会です)</p>
<p>「春の都市河川ウォーク」 大岡川 探索 2020/3/22 (日) 10:00 集合 京急「弘明寺(ぐみょうじ)駅」改札 雨天順延 3/29</p>	<p>「呑川ネット・4月総会」 2020/4/13 (金) 10:00~12:00 「消費者生活センター」Gr 活動室</p>
<p>「呑川の会・4月総会」 2020/4/18 (土) 13:30~16:30 「ふれあいはすぬま」第一集会室 *楽しい「呑川の会」へ、ふだん発言しない方でも、ひとことは声を出しましょう。 * (午前中は定例世話人会です)</p>	<p>「小学校・呑川ウォーク・呑川学習」 *毎年5月~6月は、小学校・呑川学習のサポートが集中します。可愛い子どもたちの為に、ぜひ多くの方のご協力を！ * 「呑川の会・5月定例会」は5/21 (木) 13:30~「ふれあいはすぬま」です。</p>

(編集後記)

社会では新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うイベントの中止が発表されています。私たち呑川の会もリスクを避けるために、日程変更や自粛が予想されます。このコロナ濃霧が早く消えて、マスクのいらぬ桜花爛漫の春を迎えたいものです。本誌が皆様に届くころ良い知らせが届くことを願うばかりです。

会報「のみがわ」は1997年以来、諸先輩や関係者のご支援に支えられ今回100号の発行となります。既会報はのみがわホームページ <http://home.m00.itscom.net/nomigawa/>で見られます。

これからも皆様が故郷の川として、美しく親しみやすい呑川を目指して活動を続けたい。

橋本 文興 記



☆☆☆☆☆ 手洗いと咳エチケット (マスク等) を励行しましょう。 ☆☆☆☆☆